

# 職員向け 事業所評価 2021年度

アンケート実施期間： 1/14 ～ 1/31

回収率： 78.3% ( 47 / 60 )

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	43%	41%	15%	一部床面の経年劣化によりフラットではない部分があるので、補修をしています。 新型コロナウイルスの感染防止に努めています。 コロナ感染対策として、現在食堂や廊下も活動場所としています。 コロナ禍により出勤できない職員もいるため不足しているときもあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	39%	48%	13%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	77%	17%	6%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	35%	46%	20%	研修機会として、オンラインなども使って、コロナ禍の中でも積極的に取り組んでいます。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	61%	32%	7%	
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	79%	19%	2%	
適切な支援の提供	7	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成/定期的に見直ししているか	50%	43%	7%	初めての利用者に対しては慣れた職員と2人体制で支援を行い、関係性を作ってから一対一での支援をするようにしています。 コロナ感染対応により通所できない場合に、訪問などの代替支援を活用しています。 コロナ対応や送迎が増えたことなどにより、職員の振り返りの時間がもたなくなってきました。 個別支援計画は、コロナ対応のため書面上のやりとりになっています。2年間この状態なので、面談が可能な方はできるようにしていきます。 重心さくらでは個別活動が中心です。コロナ対応で集団活動はしにくい状況でもあります。
	8	活動プログラムの立案をチームで行っているか	44%	34%	22%	
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	41%	49%	10%	
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	34%	44%	22%	
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて活動を計画しているか	39%	49%	12%	
	12	支援開始前には職員間で打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	53%	36%	11%	
	13	支援終了後には職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	46%	39%	15%	
14	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	50%	39%	11%		
関係機関や地域との連携	15	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	60%	31%	9%	今年度もコロナ対応で地域などとの交流はしにくい状況でした。 その中で、アールブリュット展(作品展示会)を佐倉市美術館で行えました(11月)。 医療的ケアについては、指示書に沿って実施できています。 今後、他施設との相互交流を復活させたいと考えています。 近隣の学校への「出前授業」も復活させたいと考えています。
	16	医療的ケアが必要な子どもについては、主治医等と連絡体制を整えているか	67%	23%	9%	
	17	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18%	33%	50%	
	18	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	21%	38%	40%	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考、工夫している点など
保護者との連携	19	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	64%	32%	5%	<p>コロナのため、年2回の家族連絡会が書面上の連絡のみになっています。本来顔を合わせて話し合いたいことがあります。2年間この状態です。</p> <p>保護者にインタビューした内容を、部内誌に掲載するなどの工夫をしています。</p> <p>家族会と共催する形で研修会を行いたいと考えています。</p> <p>「障がい児のきょうだい」「カスタマーハラスメント」部内誌やYouTubeチャンネル開設などで、通所できなくても保護者や利用者が事業所とつながりを持ち続けられる工夫をしています。</p>
	20	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	48%	45%	7%	
	21	家族会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	58%	2%	
	22	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	26%	7%	
	23	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	20%	5%	
	24	保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	70%	26%	5%	
	25	個人情報に十分に注意しているか	80%	16%	4%	
非常時等の対応	26	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	72%	24%	4%	<p>通報装置や防災器具の確認、避難訓練などを行っています。</p> <p>救出、防犯、急変時対応など、様々な災害を想定した訓練も必要と感じています。</p> <p>ひやりハット、事故報告などを積極的に書く風土が醸成されています。</p> <p>こうした報告は朝礼および社内SNS、職員ミーティングで何度も触れて共有できるよう工夫されています。</p>
	27	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	73%	18%	9%	
	28	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	16%	7%	
	29	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がなされているか	87%	9%	4%	
	30	ヒヤリハットを事業所内で共有しているか	89%	9%	2%	